

2009年12月4日(金)

報道関係者各位

笹川平和財団

アミン・バフティール元イラク共和国人権問題担当大臣の 来日に伴う取材のご案内について

笹川平和財団・笹川中東イスラム基金は、2009年12月7～13日にかけて、アミン・バフティール元イラク共和国人権問題担当大臣を招へいします。12月9日にはバフティール元大臣による講演会「イラクの現状と今後の展望」(10:00～12:00、於日本財団ビル2階)を開催します。

マリキ政権下のイラクでは、駐留米軍の都市部からの撤退が完了する中、警察による治安回復、安定的な秩序の確立などいまだ多くの課題を抱えています。

イラク北部のクルド出身であるバフティール元大臣は、大臣在任中に欧米のNGOや国際援助機関と連携した経験を活かし、現在イラクにおいて様々なNGO活動を展開しています。同国の民族問題や経済開発に関する現状や今後の展望について詳しいお話を聞く貴重な機会と言えます。

取材をご希望の方は以下の担当までご連絡下さい。

【お申し込み先】

笹川平和財団総務部情報公開担当

担当：南里(なんり) (spfpr@spf.or.jp)

電話 (03) 6229-5438 080-1249-7563 (携帯)

Fax (03) 6229-5473

* 当日通訳は付きませんので英語での取材になります。よろしくご了承下さい。

笹川中東イスラム基金とは：日本と中東地域の関係促進を補完し、日本独自の方法や手段、アジアの多角的な共存共栄関係の価値観を取り入れることにより、中東地域の安定と持続的な発展に寄与することを目指し、2009年4月に笹川平和財団内に設立されました。同基金は、日本と中東との関係拡大および相互理解の深化を推進するために、1) 日本からの情報発信、2) 人物交流、3) 人材育成、4) 海洋安全保障に関する研究の分野でプログラムを支援・実施しています。